

# 摂食・嚥下ケア

## 摂食・嚥下ケアとは

摂食・嚥下(食べること・飲み込むこと)機能の低下した人をサポートする一連のケアを言います。

“食事の様子をよく見て”“話をよく聴いて”摂食・嚥下機能の低下を疑うサインに早く“気づく”ことが大切な第一歩です。

このサインの意味がわかって、初めてケアの工夫が生まれます。「食事環境」「食事姿勢」「食事介助」「嚥下体操」など、その人に合ったケアを工夫し実践していきます。

ご本人、ご家族、保健・医療・福祉関係者で協力し、安全に効果的に摂食・嚥下ケアを進めていきましょう。

## こんなサインが見られたら

「食事中にむせる」「食後に咳がでる」といったサインが見られたら、摂食・嚥下機能の低下を疑ってみましょう。

摂食・嚥下機能の低下は、加齢に伴う口腔機能(食べる・話す・呼吸にかかわる機能)の低下だけでなく、脳梗塞、脳出血などの脳血管疾患、パーキンソン病などの神経疾患などの病気でも起こりやすくなります。



これらのサインは、誰にでも確認できるポイントなので、よく観察してみましょう。

五島市ホームページ [まるごと>トップページ](#) > [くらしの情報](#) > [高齢者・介護](#) > [高齢者福祉](#) > [高齢者の食事介助「支援者のための摂食・嚥下ケアハンドブック」引用](#)